

単
元
名

文字のデザイン

教科書出版社名（東京書籍）

○ 中学校（ 1 ）年 教科等（ 美術 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

身近にあるデザインについて知り、見る人に伝わるよう工夫する力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

それぞれの本の文字の違いを観察することで、デザインに興味を持つ。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…様々な本を見比べ、書体の違いに注目する。
- 整理・分析…本の内容を確認し、タイトルの書体が何を表しているか考える。
- まとめ・表現・発信…タブレット端末内に提示されたワークシートに自分の考えをまとめる。クラス内でワークシートを共有し、他の人の発見や考えを知る。

学習の展開（全 6 時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第 1 次☆	文字のデザインに注目してみよう ・図書室の本を見比べ、それぞれの書体の違いを観察する。 ・なぜその書体になったのか考察し、ワークシートにまとめる。 ・デザインによって見る人に様々な情報を伝えていることを確認する。
第 2 次	レタリング ・普段よく使われている書体「明朝体」「ゴシック体」をレタリングし、文字のデザインの成り立ちを学習する。 ・鉛筆、定規を効果的に使い、丁寧に書き写す技術を学習する。
第 3 次	絵文字をデザインしよう ・漢字の意味を理解し、視覚的に意味を伝えることができるデザインを考える。 ・マッピングやアイディアスケッチの手法を学習し、アイディアを深める。

(本時 1 / 6 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい 文字のデザインから何が伝わるか考える

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 教科書や身の回りの印刷物を見比べて、書体に違いがあることを見つける。(導入) なぜ文字をデザインする必要があるのか手書きの文字と比べ、それぞれの書体をもつ印象を確認する。	・生徒が興味を持ちやすいように身近な資料を使う。 ・複数の書体を見比べられるように、自由に図書室の本を選ぶよう促す。
5	2. 本時の調べ学習のながれを確認する。 ・図書室の使い方を確認する。 ・ワークシートの記入方法を確認する。(ロイロノート) ①本のタイトル、種類 ②大まかな内容 ③文字から受ける感じ(具体的に) ④タイトルの写真	・学校司書による本の分類の説明などの支援をする。
20	3. 収集した情報をワークシートにまとめていく。(展開) ・複数の本を見比べて、書体の違いを見つける。 ・本の内容を簡単に確認し、書体との関連性を見つける。 ・ワークシートに必要な情報を入力し、自分の考えや分かったことなどをまとめる。 ・ワークシートの書体や文字サイズ、色などのレイアウトを工夫する。	・複数の本を比べることで表紙や書体から内容に興味を持つよう工夫されていることに気づくよう個々に助言する。 ・デザインが身近なところで役立っていることを伝える。
15	4. 全員のワークシートを鑑賞する(まとめ) ・教室のモニターを使い、それぞれが見つけた書体を全員で鑑賞する。 ・それぞれの受け取った感じや気づきを大切にして、意見を出す。 ・文字をデザインすることで様々な情報や見る人にいろいろな「感じ」を伝えることができることに気づく。	・ワークシートにまとめた情報に不足があれば、質問をして考えを深めさせる。

